社会インフラを担う誇りと責任を胸に質の高い仕事で信頼を紡ぐエキスパート

株式会社 アールネクスト

大阪府河内長野市下里町 983-1
URL：https://www.r-next.info/

大阪府河内長野市を拠点に電気設備工事、建築設備工事を手掛ける『アールネクスト』。質の高い仕事で多くの信頼を紡ぐ注目の企業だ。社会インフラを支える誇りと責任で以て、さらなる高みを目指し力強く同社を牽引する田中社長のもとを竹原慎二氏が訪れ、様々なお話を伺った。

――早速ですが、田中社長のこれまでの歩みからお聞かせ下さい。

大阪府河内長野市の出身です。小さいころから活発で、野球や柔道に打ち込む少年時代を過ごしました。学業を終えて、地元の先輩に声をかけてもらったことがきっかけで建設現場でアルバイトするようになり、17 歳の時に現在手掛けている電気工事の親方に出会ったんです。それは私の人生において、大きなターニングポイントになりました。

――ほう。その親方のもとでどれくらい修業されたのですか。

2 年ほどです。親方はとても厳しい方で、お客様との接し方や上下関係、礼儀礼節など仕事だけでなく、プライベートでも大切なことを徹底的に教え込まれました。親方の指導があったからこそ、今の私がいるといっても過言ではありません。独立した今でも親方とはお付き合いさせていただいています。

――貴重な経験をされましたね。社長の腕を見込まれて親方は厳しく育てられたのでしょう。親方のもとを離れられてすぐに独立されて？

いえいえ。一人親方のようなかたちで様々な現場に応援に行くようになりました。その中で地元の方などから口コミで紹介してもらえることが増え、頼っていただけることにやり甲斐を感じると共に自分の手で事業を手掛けてみたいという想いが強くなってきたんです。そんな中、かつてお世話になった親方が、大阪の商業施設の LED 照明を交換する業務を受注されまして。「現場を転々とするぐらいなら一緒にやらないか」と親方から声をかけていただいたんです。それで個人事業として独立し、親方の右腕のようなかたちで携わらせていただくようになりました。

――親方は成長された社長の姿を見て喜ばれたことでしょう。独立後は順調に進まれて？

当初は小さな仕事を多くこなし、その中でご縁が広がって大きな仕事に結びついていきました。その中で常に大切にしてきたのは、「信用」です。何より、丁寧で質の高い仕事を追求すること――「質」を犠牲にして時間を削ることはあってはならない、どんなに時間がかかっても構わないとスタッフには伝えています。そうして信用を積み重ねることが大切。私共は工事に対する信用をお客様に買っていただきたいのです。

――素晴らしい姿勢です。礼儀礼節を重んじる社長のお人柄も信用につながっているからこそ、お仕事でのご縁がどんどん広がっているのだと思いますよ。具体的にどのようなお仕事を手掛けられているか伺っても？

現在メインで手掛けているのは薬局や病院関係の改装工事です。電気、空調、消防の設備工事のほか、リフォームや新築工事も承ります。スタッフは 2 名おり、妻が事務を担ってくれているほか、多くの協力業者さんに手伝ってもらっています。妻には家のことを全て任せていますし、仕事も手伝ってくれて本当に感謝しかありません。

――奥様の支えがあるからこそ、堅調に事業を推進できていると。特に現場のお仕事は人材不足だと聞きますが、御社ではいかがですか。

今いるスタッフは頑張ってくれていますが、人材の確保は当社でも大きな課題です。電気工事は土木工事や足場工事といった肉体労働系の仕事と比べて、最初からできる仕事が限られていますし、他の工事が終わってから入る現場が多いため待機時間もありますし、仕事の時間が長くなることが多い。ですから若い人には敬遠されがちな仕事なんです。けれども、電気工事に従事するためには、現場仕事の中で唯一国家資格が必要。確かな資格と技術を身につけたら、一生役に立つ武器になります。極端な話ですが、それさえ持っていれば道具一つで生きていけるんです。スタッフにはいつも、「人に誇れる仕事」「誰に見られても恥ずかしくない仕事」をしてほしいと言っています。それができるだけの知識と技術をしっかり身につけてほしいですね。

――電気工事は人々の生活になくてはならない電気の安定供給に大きく貢献するやり甲斐のあるお仕事ですし、社長にはその魅力をより広く発信していただきたいですよ。ではお話も尽きませんが、最後に今後の展望はいかがでしょうか。

これからも社会のインフラを支える誇りと責任を胸に、スタッフと共に質の高い仕事を追求し続けたいですね。そして「会社を鍛える」ことが大きな目標です。先程も申し上げましたが、まずは人材を確保して育成すること。またスタッフが働きやすい環境の整備にも力を入れていきたいと考えています。そうして会社として強靭な体力をつけることで、さらなる高みを目指していきたいです。

――本日は、ありがとうございました。

（2021 年 1 月取材）

代表取締役
田中 良平
Ryohei Tanaka

スタッフの澤田斉明氏、石田竜士氏を交えて記念撮影

guest interviewer

元 WBA 世界ミドル級チャンピオン
竹原 慎二

「10 代のころの厳しい修業が今のご自身の原点だと語っておられた田中社長。出会う人で人生は変わると改めて感じました。これから多くの従業員の方との出会いが待っていることを祈ります。陰ながらはありますが、今後のご活躍を応援していますよ！」　竹原 慎二・談

Pick up the story

命をつないだ意識、行動力、勇気

▼高い技術力で質の高い仕事を納めることはもちろんのこと、各施工現場での労働安全衛生にも細心の注意を払い、「安全は全てにおいて優先する」をスローガンにしている『アールネクスト』。安全に対する高い意識は、日頃の行動にもつながっている。2016 年 10 月、大阪府河内長野市の歩道上において、突然、若い男性が倒れ心肺停止の状態となっていた。田中社長はすぐに駆けつけ、他の通行人と協力して直ちに 119 番通報をすると共に心肺蘇生法を行った。救急隊との連携もスムーズに行え、「救命の連鎖」により心拍が再開。その後、男性は無事社会復帰することができたという。この救命行為に対して地元の消防署から感謝状を贈呈された社長。安全に対する日頃の意識だけでなく、躊躇うことなく救命行為を行った行動力そして勇気の賜物で大切な命がつながれた。私たちは社長の姿勢から学ぶことが多くある。

感謝状

田中 良平様

あなたは平成28年10月26日
河内長野市木戸東町の歩道上
で発生した救急事案において
緊急事態に怯むことなく迅速かつ
適確なに心肺蘇生法により尊い
人命の救助に多大な寄与されました
その功績は誠に顕著であります
よってここに深く感謝の意を表します

平成29年1月16日
河内長野市消防長
消防監　中野　隆司